



1999年3月28日-30日：第23回日本藻類学会大会（山形）

詳しくは本号のプログラムをご覧ください。

1999年5月27日-28日：第3回マリンバイオテクノロジー学会大会

詳しくは次ページの案内をご覧ください。

1999年6月22日-25日：第2回アジア太平洋藻類フォーラム

Second Asian Pacific Phycological Forum, The Chinese University of Hong Kong, Shatin, N.T. Hong Kong SAR, China（詳しくは45(3)号ならびに本号の案内をご覧ください）

1999年9月20日-26日：第2回ヨーロッパ藻学会議 The Second European Phycological Congress (EPC 2), Montecatini Terme (Italy). 連絡先: Prof. Francesco Cinelli Dipartimento di Scienze dell'Uomo e dell'Ambiente - Università di Pisa Via A. Volta, 6; I-56126 Pisa, Italy

Tel: + 39 50 23054; Fax: + 39 50 49694, e-mail: cinelli@discat.unipi.it (The first circular will be mailed in May

1998.)

1999年9月26日-10月1日：第8回国際応用藻学会議 8th International Conference on Applied Algology (8th ICAA), Montecatini Terme (Italy), 連絡先: Prof. Mario Tredici, Dipartimento di Scienze e Tecnologie Alimentari e Microbiologiche - Università di Firenze P.le delle Cascine, 27; I-50144 Firenze, Italy Tel: + 39 55 3288306; Fax: + 39 55 330431; e-mail: tredici@csma.fi.cnr.it セカンドサーキュラーは<http://www.area.fi.cnr.it/icaa/>のサイトで見るができます。

1999年8月1日-7日：第16回国際植物学会議 XVI International Botanical Congress (St. Louis, U.S.A.), 連絡先: Secretary General, XVI IBC, c/o Missouri Botanical Garden, P.O. Box 299, St. Louis, Missouri 63166-0299, USA FAX: (01) 314-577-9589 or e-mail: ibc16@mobot.org, You may also consult the Web site for more detailed information and to register. The address is: <http://www.ibc99.org>（詳しくは45(3)号の案内をご覧ください）

第2回アジア太平洋藻類学フォーラム

すでに「藻類」45(2)でお知らせしましたように、アジア太平洋藻類学会 (Asian Pacific Phycological Association) 主催の標記フォーラムが1999年6月21-25日に The Chinese University of Hong Kong (中国香港) で開催されます。要旨締め切り日等は過ぎていますが、もし詳細を今からでも知りたい方は下記に問い合わせ下さい。

問い合わせ先：アジア太平洋藻類学会庶務 田中次郎：TEL&FAX 03-5463-0526

主な内容（ニュースレターより抜粋）

招待講演1：Wreede教授（カナダ）：藻類の個体群と群集生態学

招待講演2：宮地重遠教授（日本）：21世紀における藻類のバイオテクノロジー

招待講演3：Prud'homme van Reine教授（オランダ）：東南アジアにおける有用海藻

ミニシンポジウム

1. 藻類の個体群動態と群集構造, 2. 藻食動物と藻類側の防御, 3. 藻類の栄養学的利用, 4. 有機化学資源としての藻類: その探索と将来展望, 5. 藻類におけるバイオテクノロジー, 6. 海藻の養殖, その問題と展望, 7. 富栄養化と汚染の海藻への影響: 生態系, 群集, 個体群, 個体への影響, 8. 微細藻類と環境汚染, 9. みどり潮, 10. 系統分類と進化解明のための分子・形態からのアプローチ, 11. 実験系としての藻類細胞

この他に一般講演(口頭, ポスター), 西太平洋熱帯域における藻類研究・教育ネットワーク構築のためのワークショップなどが企画されています。

第3回マリンバイオテクノロジー学会大会開催のお知らせ

第3回マリンバイオテクノロジー学会大会を下記により開催いたしますので、ふるってご参加下さい。

主催 マリンバイオテクノロジー学会
 会期 1999年5月27日(木)、28日(金)
 会場 工業技術院 筑波研究センター 共用講堂
 〒305-8561 茨城県つくば市東1-1-4

発表・参加の申し込み要領の請求法

住所(郵便番号)、氏名、所属、電話番号、FAX番号、電子メールアドレスを明記の上、下記の連絡先までお申し込みください(FAXまたは電子メールをご利用ください)。

発表申込締切 1999年3月19日(金) FAXまたは郵送受付

発表要旨締切 1999年4月19日(月) 郵送必着

発表形式 一般講演 口頭発表(質疑含み15分, OHP使用, スライドは不可), ポスター発表

参加登録料 (3月19日まで) 会 員: 一般5,000円, 学生3,000円

非会員: 一般9,000円, 学生4,000円

(3月20日以降) 会 員: 一般7,000円, 学生4,000円

非会員: 一般10,000円, 学生5,000円

(発表講演要旨代を含みます)

懇親会 5月27日(木) 18:00~20:00 懇親会費: 一般5,000円, 学生3,000円

特別講演 「ヤリイカの神経細胞から脳型コンピューターへ」松本 元博士

(理化学研究所 脳科学総合研究センター ブレインウェイクグループ ディレクター)

招待講演 1. 「極限環境の微生物生態」関 文威 博士

(筑波大学大学院 バイオシステム研究科長、生物科学系教授)

2. 「海産毒の化学構造と標的細胞での機能」橘 和夫 博士

(東京大学大学院 理学系研究科 教授)

シンポジウム 次の5件を企画しております。

- 1) 微生物群集解析とバイオテクノロジーの接点
- 2) 海洋微細藻類資源の探索とカルチャーコレクション
- 3) 海洋有用資源
- 4) マリンゲノム研究の新展開
- 5) 分子レベルでのバイオミネラル化の制御

一般講演/ポスター発表

微生物, 藻類, CO₂, 魚介類, 生理活性物質, 支援システム等

連絡先 〒305-8566 茨城県つくば市東1丁目1番

工業技術院 生命工学技術研究所 微生物機能部

第3回マリンバイオテクノロジー学会大会

実行委員長 東原高規

TEL: 0298-54-6063, FAX: 0298-54-6412, E-mail: mbiot99@nibh.go.jp

大会ホームページ <http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jsmb/mbio.html>